



交付運用報告書

損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2019年7月17日～2020年7月15日

第22期 決算日：2020年7月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

各ファンドは、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、各ベンチマーク（Aコース：MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）・Bコース：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



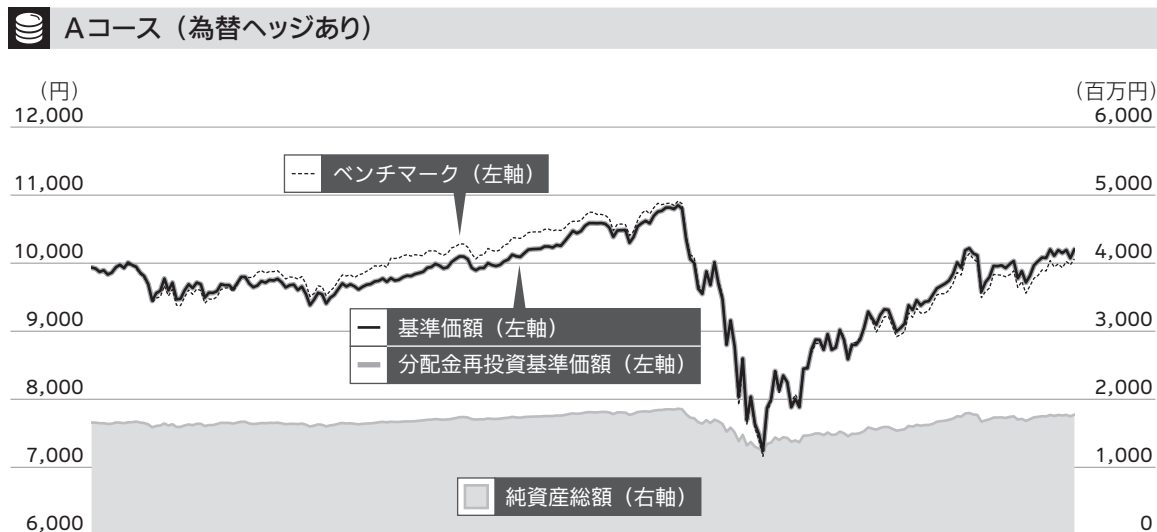
0120-69-5432

第22期末 2020.7.15		
	Aコース (為替ヘッジあり)	Bコース (為替ヘッジなし)
基準価額	10,204円	14,201円
純資産総額	1,773百万円	2,154百万円
騰落率※	2.7%	2.7%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

第21期末
2019.7.16

第22期末
2020.7.15

第22期首

騰落率

第22期末

基準価額
9,936円

2.7%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
10,204円
(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Aコース（為替ヘッジあり）

実質的な投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が上昇したことにより、当ファンドの基準価額が上昇しました。なお、当ファンドは為替をヘッジしているため、保有外貨建資産に対する為替変動の影響は大きく受けませんでした。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+5.0%となりました。

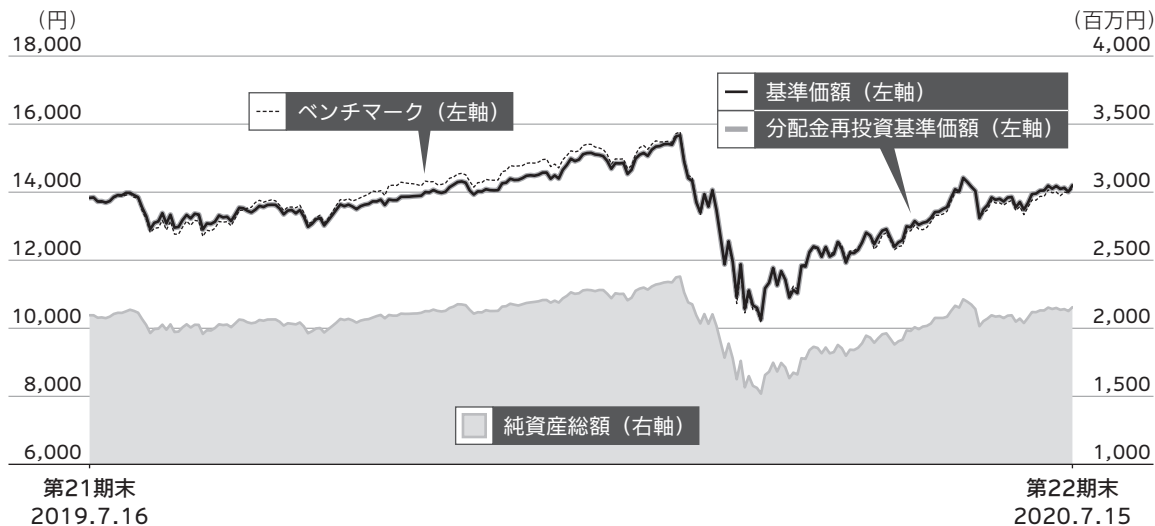
ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

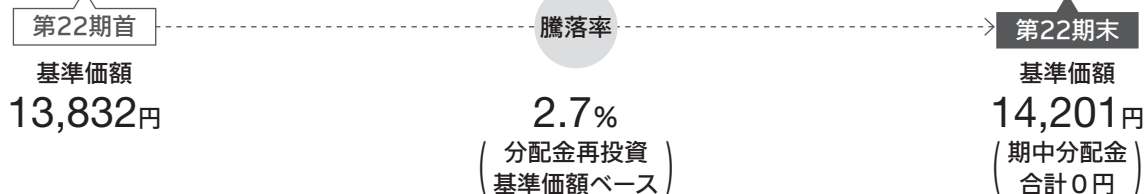
 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ Bコース（為替ヘッジなし）



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Bコース（為替ヘッジなし）

実質的な投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が上昇したことから、当ファンドの基準価額が上昇しました。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+5.0%となりました。

ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

📁 Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第22期 2019.7.17~2020.7.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	202円	2.084%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,715円です。
（投信会社）	（101）	（1.042）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（91）	（0.932）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（11）	（0.110）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.074	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	（6）	（0.066）	
（投資信託証券）	（1）	（0.009）	
(c) 有価証券取引税	0	0.005	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	（0）	（0.005）	
（投資信託証券）	（0）	（0.000）	
(d) その他費用	6	0.060	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（4）	（0.045）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（1）	（0.011）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（0）	（0.004）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	215	2.223	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

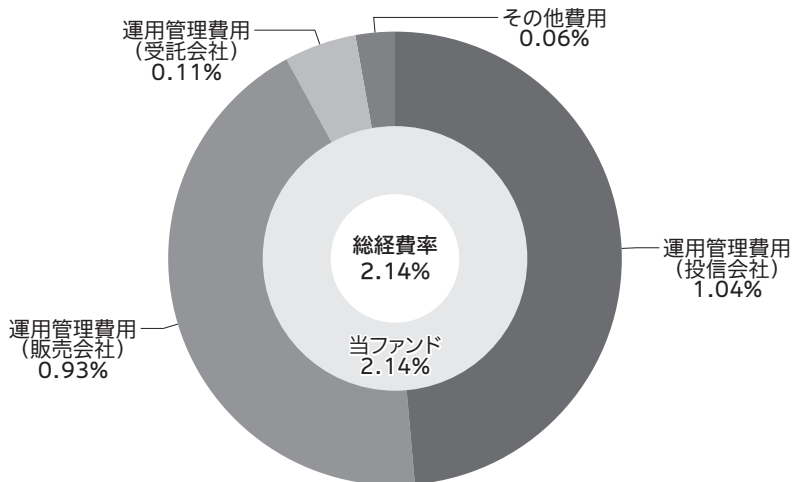
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.14%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第22期 2019.7.17~2020.7.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	284円	2.084%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,619円です。
（投信会社）	(142)	(1.042)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(127)	(0.932)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(15)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.074	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(9)	(0.065)	
（投資信託証券）	(1)	(0.009)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.005)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.060	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(6)	(0.045)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(2)	(0.011)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(1)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	303	2.223	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

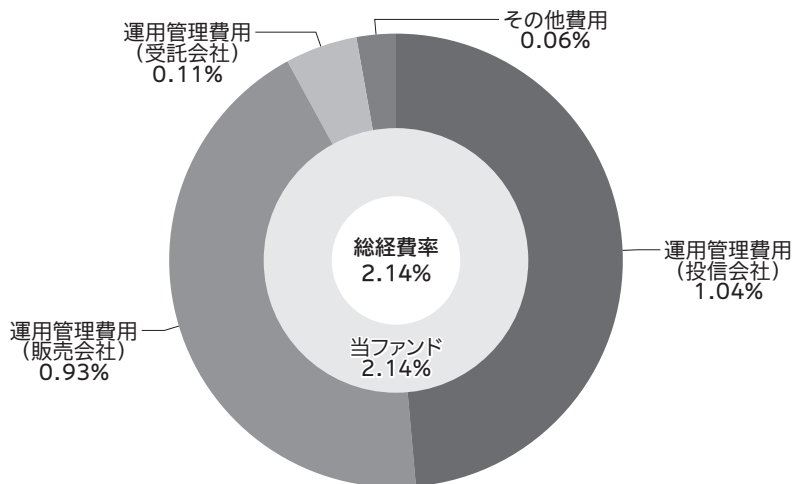
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.14%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2015.7.15～2020.7.15

● Aコース（為替ヘッジあり）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

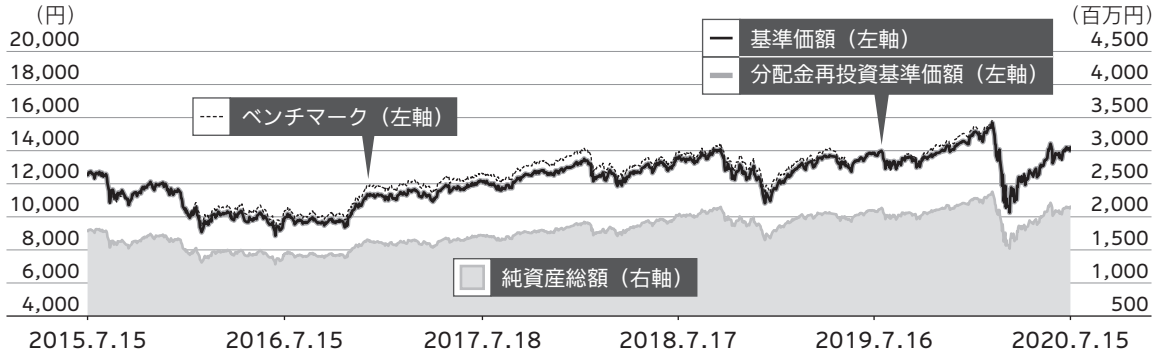
決算日		2015.7.15 決算日	2016.7.15 決算日	2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日
基準価額	(円)	8,361	7,681	8,693	9,549	9,936	10,204
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	△ 8.1	13.2	9.8	4.1	2.7
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△ 2.2	12.5	8.3	3.9	1.3
純資産総額	(百万円)	1,266	1,188	1,397	1,588	1,657	1,773

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）です。

指数に関する詳細は26ページをご参照ください。

2015.7.15~2020.7.15

Bコース（為替ヘッジなし）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2015.7.15 決算日	2016.7.15 決算日	2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日
基準価額	(円)	12,524	9,949	12,133	13,516	13,832	14,201
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	△ 20.6	22.0	11.4	2.3	2.7
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△ 17.2	21.8	9.7	0.4	2.0
純資産総額	(百万円)	1,785	1,443	1,717	2,015	2,095	2,154

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）です。

指数に関する詳細は26ページをご参照ください。

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。

期初から2020年2月末にかけては、FRB（米連邦準備制度）が当面の間、金融緩和政策を継続する姿勢を示したことや、米中間で貿易摩擦問題に関する交渉が進展するとの期待から概ね上昇基調で推移し、S&P株価指数は最高値を更新しました。

3月には、中国の武漢で発生した新型コロナウイルスの感染がグローバルに広がり、ウイルス拡散防止のため経済活動の自粛等が各国で採られたことで景気見通しが懸念され、急落しました。

4月以降は、世界各国が協調的な金融緩和策を打ち出したことで反転し、期を通して見ると上昇しました。

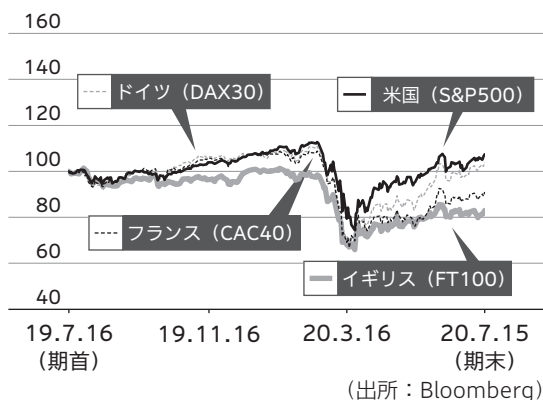
○欧州株式市場

欧州株式市場は下落しました。

期初から年末までは、英国のEU（欧州連合）離脱問題をめぐる先行き不透明感などから下落する場面もありましたが、景気の落ち込みが懸念されるドイツが財政支出を増やす可能性を示唆したことなど、欧州で緩和的な政策が続く見通しが高まったこと等が好感され、上昇基調で推移しました。

年明けには新型コロナウイルスが欧州でも流行し、英国のジョンソン首相がウイルスに罹患し、一時重篤な状態に陥っていることが報道されると、リスクオフの動きから大幅に下落しました。2020年4月以降は、EU復興基金などの経済対策が検討され、景気が下支えされるとの期待から反転し、下落幅を一部取り戻しました。

主要株価指数の推移



注. 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

○アジア株式市場

アジア株式市場は大幅に下落しました。

期初には、米中間の貿易摩擦問題や香港の反政府デモの緊迫化等を背景に下落しましたが、米中両国の関係改善やグローバルに緩和的な金融政策がとられていること等が好感され、リスクオンの動きから年末にかけて上昇し、下落幅を取り戻しました。

2020年1月には、中国で新型コロナウイルスの感染が確認され、アジアを含めグローバルに感染が拡大したことで、ウイルスの脅威が懸念され急落しました。

4月以降は、米国や欧州を始め、世界各国で金融緩和策や財政刺激策が打ち出されたことで、下落幅を一部取り戻しました。

○為替市場

米ドルは、米中貿易対立の動きをめぐり上下する場面もありましたが、米国の緩和的な金融政策を背景に年明けまで徐々に円安が進みました。2020年2月には、新型コロナウイルスの感染拡大により景気の先行き懸念が強まると米国株式や原油価格が急落し、リスクオフの展開から大きく円高に動きました。

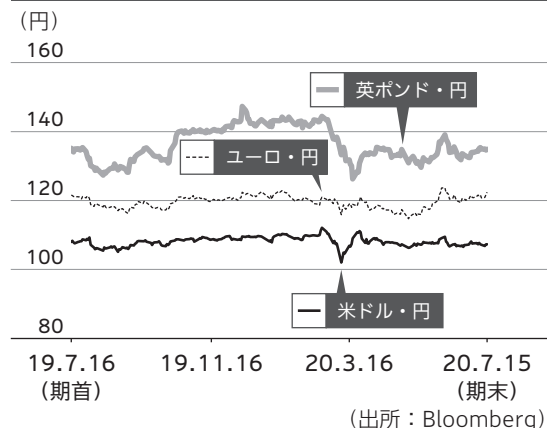
4月以降は、世界各国が協調的な金融緩和策を打ち出したことで市場が落ち着きを取り戻し、期を通して見るとやや円高に推移しました。

ユーロ、英ポンドは、英国のEU離脱問題の先行き懸念から期初に円高が進みましたが、期を通して見るとほぼ横ばいでした。

主要株価指数の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

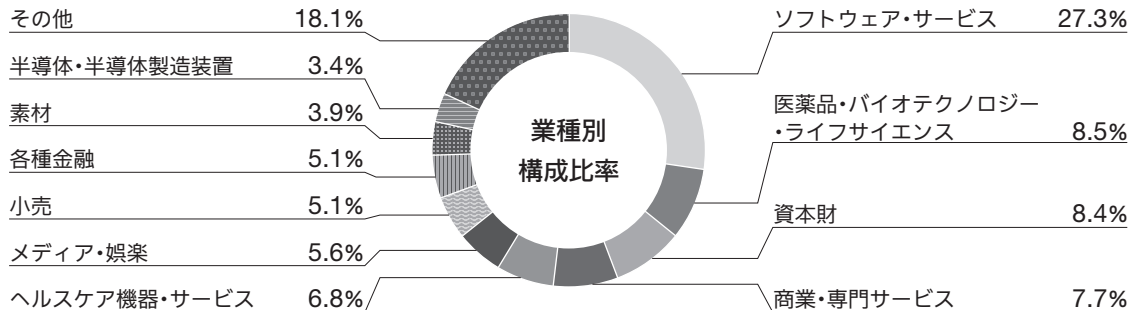
期を通して、損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、実質外貨建資産については為替ヘッジを行っています。

📊 Bコース（為替ヘッジなし）

期を通して、損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

🏢 損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。



注1．比率は、第22期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2．端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

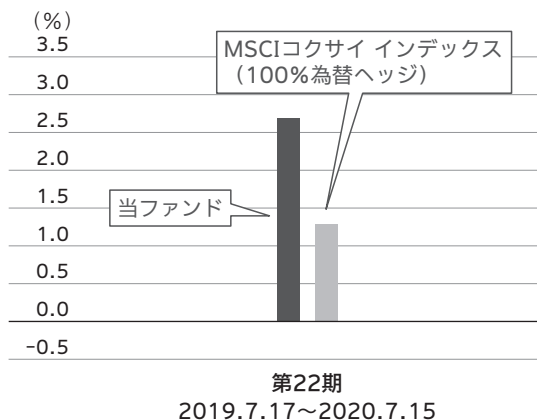
● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイインデックス（100%為替ヘッジ））の騰落率（+1.3%）を1.4%上回りました。

米国のオーバーウェイト等の地域配分や、イギリス株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

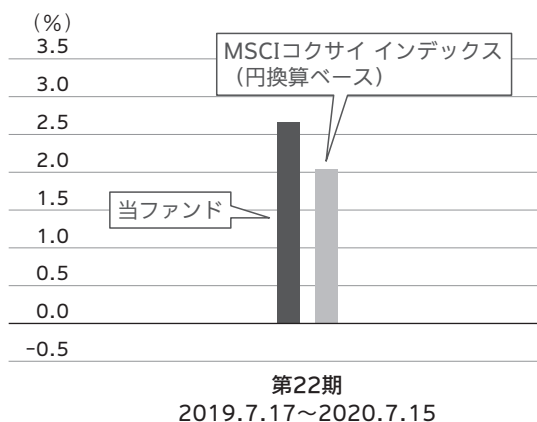


📊 Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（+2.0%）を0.6%上回りました。

米国のオーバーウェイト等の地域配分や、イギリス株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（+2.0%）を3.0%上回りました。

米国のオーバーウェイト等の地域配分や、イギリス株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

Aコース（為替ヘッジあり）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 （単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第22期 2019.7.17~2020.7.15
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,310

- 注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- 注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 （単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第22期 2019.7.17~2020.7.15
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,594

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

Aコース（為替ヘッジあり）

引き続き「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、原則として実質外貨建資産については100%為替ヘッジを行います。

Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、同コースについては原則として為替ヘッジを行いません。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

外国株式は新型コロナウイルスの感染拡大による株式市場の急落から回復しつつありますが、感染拡大第2波が懸念されます。世界経済が再び混乱し、株式市場が大きく変動する可能性はありますが、経済活動の再開を受け中長期的には楽観的な見通しを維持しており、引き続き高い成長と安定したキャッシュフローが見込める企業の発掘に努めます。

当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

● お知らせ



損保ジャパン－TCW外国株式ファンドAコース（為替ヘッジあり）

損保ジャパン－TCW外国株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）

投資信託の監査にかかる費用を適切に反映させるため、2020年1月から、監査費用の徴収方法を変更することと致しました。

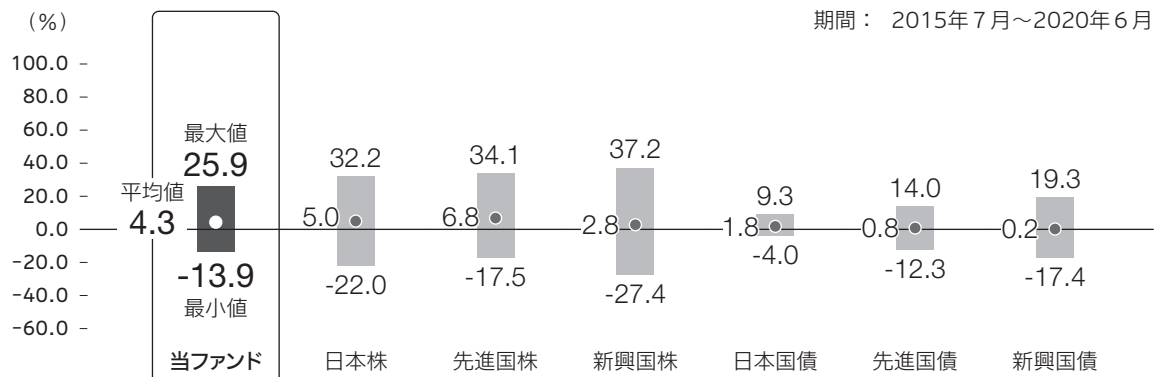
2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました（2020年4月1日）。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	<p> 損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし） 「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券</p> <p> 損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式</p>
運用方法	<p>① 日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。</p> <p>② 「Aコース（為替ヘッジあり）」 MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 「Bコース（為替ヘッジなし）」 MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。</p> <p>③ 各ファンドのマザーファンドである「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」の運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用の指図に係る権限を、米国のTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

☑ Aコース（為替ヘッジあり）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

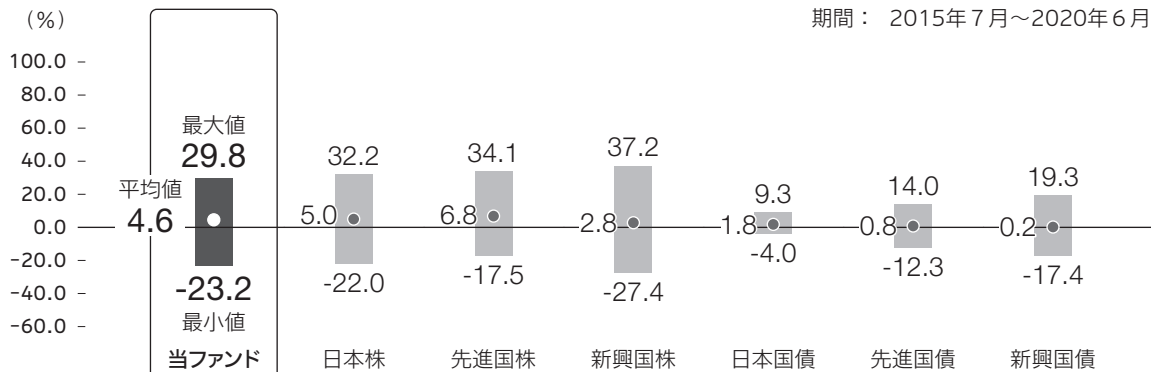
※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は26～27ページをご参照ください。



Bコース（為替ヘッジなし）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は26～27ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

Aコース（為替ヘッジあり）

● 当該投資信託の組入資産の内容

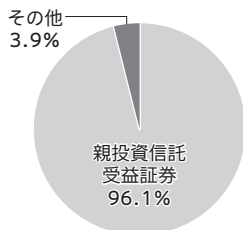
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第22期末 2020.7.15
損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド	96.1%

注. 比率は第22期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第22期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第22期末 2020.7.15
純資産総額	1,773,932,010円
受益権総口数	1,738,512,565口
1万口当たり基準価額	10,204円

※ 当期中における追加設定元本額は438,924,732円、同解約元本額は368,852,542円です。

当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

Bコース（為替ヘッジなし）

● 当該投資信託の組入資産の内容

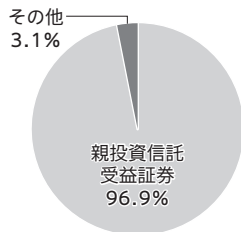
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第22期末 2020.7.15
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	96.9%

注. 比率は第22期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第22期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第22期末 2020.7.15
純資産総額	2,154,613,386円
受益権総口数	1,517,173,461口
1万口当たり基準価額	14,201円

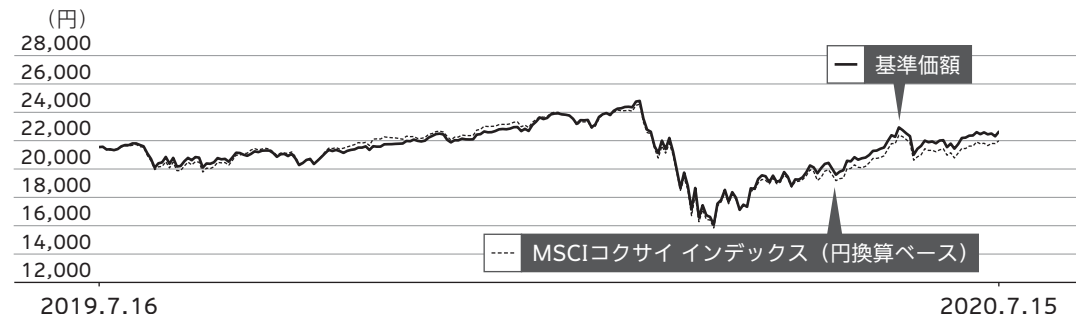
※ 当期中における追加設定元本額は406,126,485円、同解約元本額は403,953,714円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

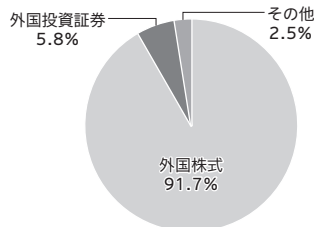
項目	2019.7.17～2020.7.15	
	金額	比率
売買委託手数料	16円	0.077%
（株式）	(15)	(0.068)
（投資信託証券）	(2)	(0.009)
有価証券取引税	1	0.005
（株式）	(1)	(0.005)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	11	0.050
（保管費用）	(10)	(0.047)
（その他）	(1)	(0.003)
合計	28	0.132

期中の平均基準価額は21,431円です。

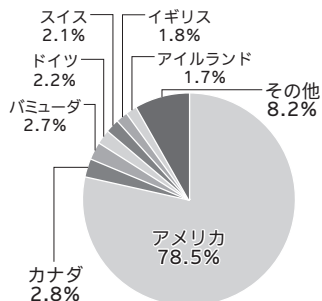
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.7%
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.7%
3 WASTE CONNECTIONS INC	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	カナダ	2.8%
4 AMAZON.COM INC	小売	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%
5 FISERV INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%
6 IHS MARKIT LTD	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	バミューダ	2.5%
7 DANAHER CORP	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%
8 TRADE DESK INC/THE -CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%
9 JACK HENRY ASSOCIATES INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%
10 ADOBE SYSTEMS INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%
組入銘柄数		223銘柄		

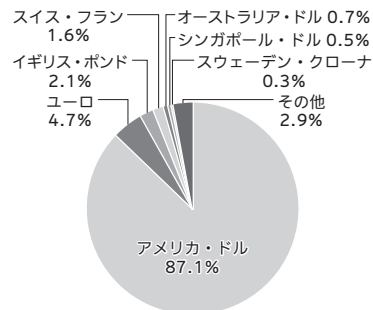
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については5ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2020年7月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）およびMSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。

同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPMorgan GBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

損保ジャパン-T C W外国株式ファンド コース

検索 

それぞれのコースをご入力下さい。

Aコース（為替ヘッジあり）

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0874/price.html>



Bコース（為替ヘッジなし）

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0875/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日
（申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。